

令和3年度
「関係人口創出・拡大のための中間支援組織の提案型モデル事業」
成果報告会

団体名：株式会社福山コンサルタント

「JR西日本×瀬戸内3市（竹原市/三原市/尾道市）による『せとうちファンづくり』プロジェクト」

1.事業概要・スキーム図

●本事業の対象地域

- ・本事業の対象地域である広島県三原市、竹原市、尾道市の位置図は以下のとおり。
- ・鉄道（JR山陽本線・呉線）、西国街道及び瀬戸内海航路で結ばれており古くから文化圏、経済圏等の強い結びつきがある地域となる。
- ・瀬戸内海の豊かな自然環境やその気候を活かした農業（果樹等）が共通資源としてある。



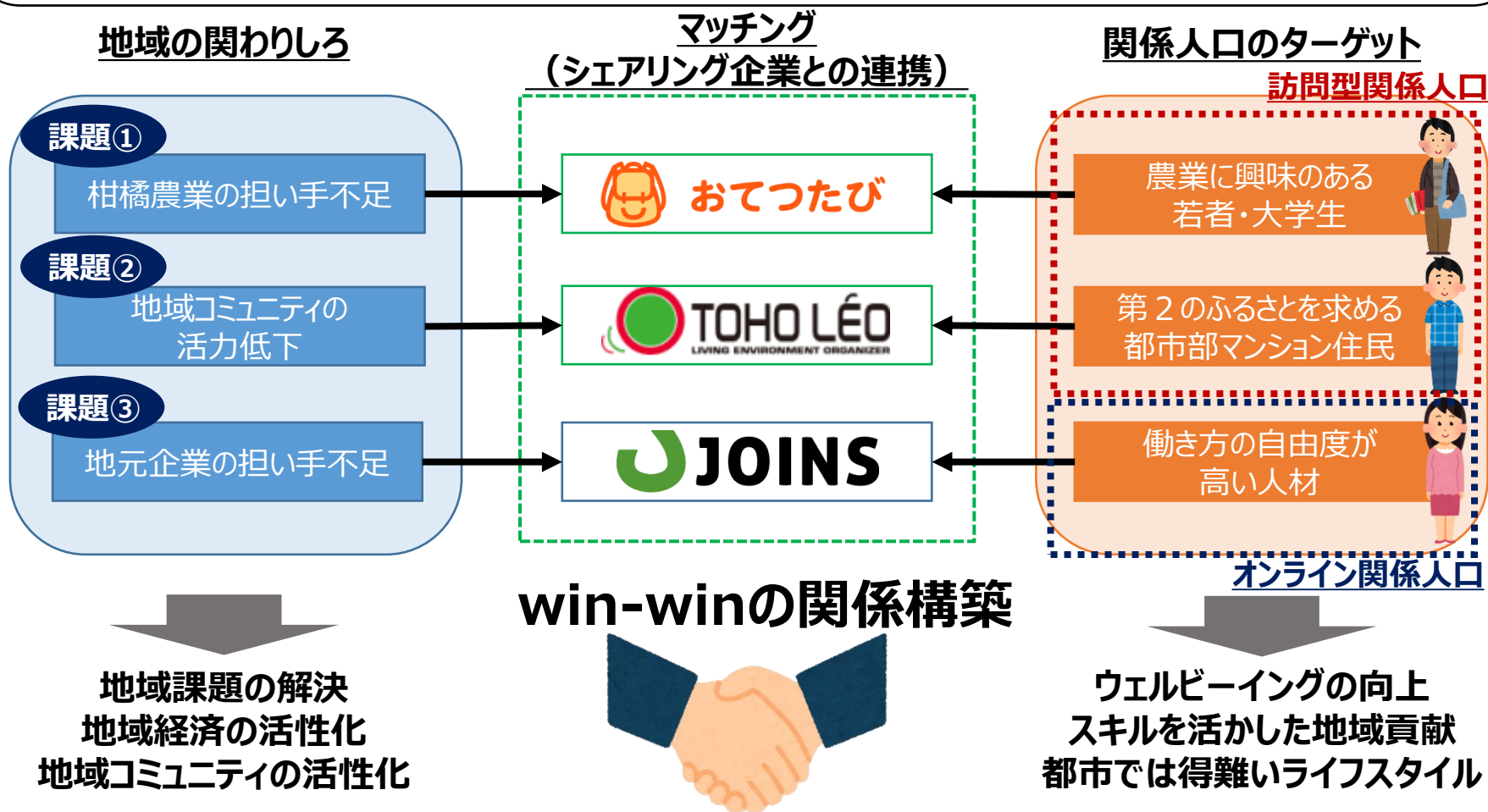
1.事業概要・スキーム図

●本事業の背景及び目的

・本事業は三原市、竹原市、尾道市とJR西日本の協定に基づくものであり、瀬戸内海の共通課題である農業の担い手不足、地域コミュニティの活力低下、地元企業の担い手不足等の地域課題を関りしるに関係人口の創出・拡大を図り、横展開を図っていくことが目的。

●本事業の特長

- ①受入地域との合意形成ツールとして、農家・地元企業等の受入地域側の身近な体験談や関係人口の関わりに係る動画を作成
- ②都市部関係人口を顧客として、プラットフォームにより都市部関係人口と地域のマッチングサービスを行うシェアリング企業と連携
- ③訪問型関係人口及びオンライン関係人口を対象として、それぞれの関わり方の継続性や深化に係る仕組みを検討 等



1.事業概要・スキーム図

取組内容

関係人口を受け入れる地域の体制構築	<ul style="list-style-type: none"> ・受入地域との合意形成に向けたツール（動画）の作成 ・関係人口の受入地域（農家等）の掘り起こし
関係人口の創出拡大の取組	<ul style="list-style-type: none"> ・モニターツアーの実施（東邦レオ）等 ・おてつたび実証実験の実施（おてつたび） ・おてつたび実証実験に参加した大学生の報告会及び意見交換会を実施 等 ・オンライン副業・兼業人材の地域への関わりの強化（JOINS） ・オンライン副業・兼業人材の訪問型関係人口への発展可能性の検証 等
横展開に向けた仕組みの検討	<ul style="list-style-type: none"> ・瀬戸内海への横展開に向けたガイドブックの作成
検証	<ul style="list-style-type: none"> ・各主体へのアンケート調査及びヒアリング調査を実施

実施体制

関係者		役割
中間支援組織	西日本旅客鉄道株式会社	<ul style="list-style-type: none"> ・取組全般の企画・検討、実行、とりまとめを実施 ・関係者間の調整等も含め全てコーディネート
	株式会社福山コンサルタント	
	NPO法人ミライディア	<ul style="list-style-type: none"> ・都市-地域を結ぶ関係案内人として関係人口、受入地域、シェアリング企業等をコーディネート
行政 (事業実施地域)	広島県三原市	<ul style="list-style-type: none"> ・提案団体と共に取組全般の検討を実施
	広島県竹原市	
	広島県尾道市	
シェアリング 企業	おてつたび	<ul style="list-style-type: none"> ・自社プラットフォームの提供やアンケート調査への協力
	JOINS	
	東邦レオ	
大学	広島大学	<ul style="list-style-type: none"> ・本事業に大学生がモニターとして参加

2.活動内容

①関わりしろ（柑橘農業の担い手不足）×ターゲット（農業に興味のある若者・大学生）の活動内容

●活動内容の概要

- ・受入地域に対して：おてつたびに参加する農家の掘り起こし、関係者との連携調整、受入地域と関係人口のマッチング支援 等
- ・地域外関係人口(都市圏)に対して：まちあるきにより都市では得難い関わりしろ（人・自然・食等）を紹介、意見交換会によりニーズを掘り起こし 等
- ・地域内関係人口(生活圏)に対して：卒業後に地域への移住・定住等の可能性がある大学生を対象に、意見交換会を実施、その可能性を検討 等

●活動内容のポイント

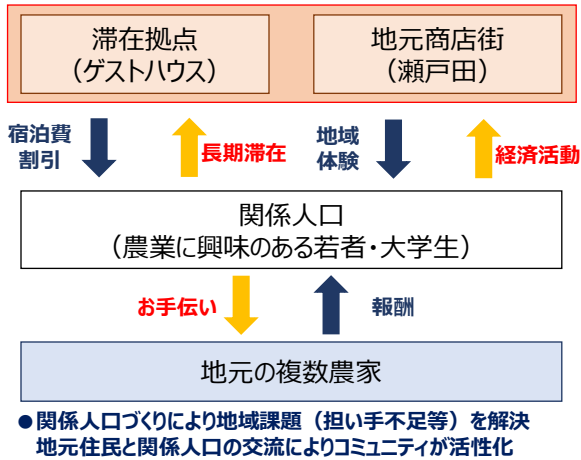
- ・尾道市瀬戸田における農繁期の人手不足の地域課題の解決だけでなく、観光の閑散期を若者・大学生のお手伝いで解決する事業モデル
- ・複数の関係人口（おてつたび）を複数の農家でシェアすることにより、関係人口の滞在日数・期間を延ばし、地域との関係性を深化させる事業モデル

●活動内容の課題・対応

- ・関係人口の受入先となる農家の更なる掘り起こし（本事業で作成した動画等を活用）、瀬戸田の特徴である農業・商業の連携による関わりしろ強化
- ・関係人口の受入先となる農家と関係人口のマッチング支援（需要と供給の調整、日程調整等）を行う地元中間支援組織が必要
→シェアリング企業のシステムが複数関係人口×複数農家に対応していないため、この対応も今後検討が必要（農家が中間支援組織を担当等）

■事業の全体像（尾道市が対象）

●関係人口づくりにより地域経済が活性化



■事業の活動内容（地域外関係人口がターゲット）

【関係人口づくりのコーディネート】

- ・受入地域の体制構築
→おてつたびに参加する農家の掘り起こし：4件
→JA・ゲストハウス・商店街との連携調整 等
- ・受入地域と関係人口のマッチング支援
→受入農家・ゲストハウス等との日程調整を実施
→都市部の大学生・社会人の計4名を受入（11・12月） 等

【地元住民・関係人口との意見交換会】

- ・関係人口を対象としたまちあるきを実施（関わりしろの確認）
- ・地元農家、関係人口、関係者等の計18名で意見交換（12月）
→地域の関わりしろ、継続的な関わり方の工夫、幸せ 等

■事業の活動内容（地域内関係人口がターゲット）

【広島大学の学生との意見交換会】

- ・本事業に参加した大学生の報告会及び意見交換を実施（2月）
→大学生7名が参加（うち1名は本事業に参加）
→参加した全ての大学生が関係人口としての関わりを希望 等



win-winの関係構築



■受入地域（農家）のコメント

- ・農繁期の人材不足が解消し、収穫が予定通り進むためうれしい。
- ・地域コミュニティが小さく、仕事の特性上地域外の人と話す機会が少ないため、新しい人と出会えることは楽しい。 等

■関係人口のコメント

- ・朝早く起きて、島の人とコミュニケーションをとる、その何気ない時間に幸せを感じる。これは都市では得難い経験。
- ・自然豊かな環境で柑橘の収穫体験ができることが幸せ。 等

2.活動内容

②第2のふるさとづくり（関わりしろ（地域コミュニティの活力低下）×ターゲット（第2のふるさとを求める都市部マンション住民））

●活動内容の概要

- ・受入地域に対して：第2のふるさとづくりに参加する関係人口との関係構築、受入地域のコンテンツ造成に係るヒアリング・掘り起こし 等
- ・関係人口に対して：受入地域のコンテンツをパッケージ化したモニターツアーの実施、モニターツアーの妥当性検証に向けたアンケート調査の実施 等

●活動内容のポイント

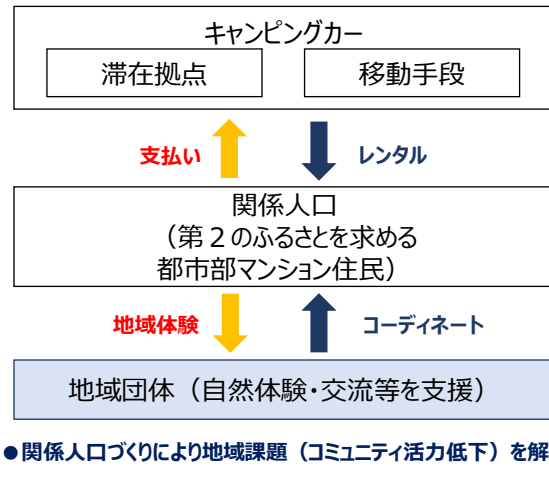
- ・第2のふるさとづくりに関われるコンテンツをマンション住民に対して提供する事業モデル（マンションのハード面の価値に対してソフト面の価値を追加）
- ・都市部のマンション住民が価値を感じるコンテンツの造成、コロナ禍において感染症リスクを低下させる滞在拠点・移動手段（キャンピングカー）の確保

●活動内容の課題・対応

- ・地域交流によるコミュニティの活性化と合わせて、地域産品等の都市部マンションへの販路拡大等の地域経済活性化に資する取組も必要
- ・都市部マンション住民の訪問頻度・滞在期間を高めるための仕掛け（地域への再来訪を促す仕掛け）が今後必要 等
→紅葉のシーズンや桜の植樹（自分で購入して植える）等のイベントに再来訪するモニターツアー参加者も既に存在 等

■事業の全体像（三原市）

●滞在拠点・移動手段の確保



■事業の活動内容

【関係人口づくりのコーディネート】

- ・受入地域の体制構築
→受入先となる地域団体との調整：1団体
- ・受入地域と関係人口のマッチング支援
→事前に受入地域と関係人口の顔合わせを実施（1回）

【モニターツアーの実施】

- ・関係人口のモニターツアーのコンテンツ造成
→関係人口が価値を感じる地域コンテンツの掘り起こし（ミツバチ体験・農業体験・佛通寺等の景勝・食（レンコン）等）
- ・モニターツアーの実施（10月）
→ファミリー層3世帯（夫婦＋子供）が1泊2日で参加
※費用は5万円（新幹線、レンタカー、現地体験費用等）
→地域コンテンツの体験、都市では得難い子供の学び 等

【関係人口へのアンケート調査の実施】

- ・モニターツアーの満足度は全員高く、今後も継続的に三原市との関わりを回答する者も多く、二地域居住先としての可能性もあり



win-winの関係構築



■受入地域（地域団体）のコメント

- ・子供が少ない地域に都市部からファミリー層の世帯が来るため、年末に孫を向かい入れるように楽しい。 等

■関係人口のコメント

- ・自然豊かで、静かな空間がとても良い、家族が喜んでおり楽しい。
- ・子供が都市部では得難い自然体験（虫取り・芋ほり等）や地域住民との交流（BBQ等）ができ、楽しんでいる。 等

2.活動内容

③関わりしろ（地域企業の担い手不足）×ターゲット（働き方の自由度が高い人材）

●活動内容の概要

- ・受入地域に対して：オンライン副業・兼業人材の人物像の紹介、それを踏まえたマッチング（契約）企業の掘り起こし 等
- ・関係人口に対して：地域企業との契約関係以外での地域との関わり方・関わる機会（リアルでの訪問、地域企業社員等との交流等）の提供 等

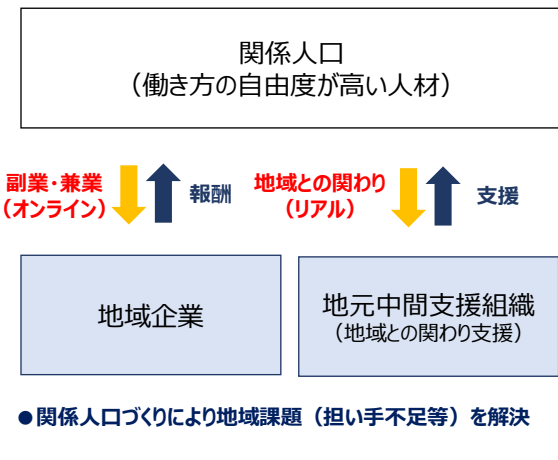
●活動内容のポイント

- ・オンライン副業・兼業人材が地域企業と契約関係以上の関わりを持てるような仕組みの可能性を検討
- ・JOINSに登録している人材を対象に、アンケート調査を実施して、オンライン副業・兼業人材のペルソナ像や訪問への発展可能性を定量的に検証 等

●活動内容の課題・対応

- ・地域側がオンライン副業・兼業人材の人物像を掴み切れず、その受入先企業になりにくいため、本事業で作成した動画やアンケート調査結果等を活用して、地域企業等に対してオンライン副業・兼業人材のペルソナ像を情報発信していくことが重要

■事業の全体像（三原市）



■事業の活動内容

【関係人口づくりのコーディネート】

●受入地域側の課題

- ・オンライン副業・兼業人材と地域との関係について、地域企業との一方通行の契約関係であることに課題あり
- ・また、受入企業側がオンライン副業・兼業の人物像をイメージ出来ず、契約関係以上の関係性を望むも難しい状況

●課題の解決策の検討

- ・仕事以外でのリアルな地域との関係構築を支援（1名）
→地元のお店を紹介し、受入企業社員との交流会を支援
→漁協の方からたこを紹介頂き、仕事に関する意見交換を実施
- ・地域企業や地域との交流を通じて、再来訪の意欲が向上
→次は1人ではなく、家族を連れて三原市を訪れたい 等

【オンライン関係人口から訪問型関係人口への発展可能性の検証】

- ・JOINSに登録している人材を対象に、アンケート調査を実施
→地域企業と契約する際の判断条件：地域貢献（44%）
→地域企業から訪問の誘いを受けた場合訪問する可能性：高い（93%）



win-winの関係構築



■受入地域（地域企業）のコメント

- ・ECやシステム関係に課題感を持っているため、専門的な知識・スキルを持ったオンライン副業・兼業人材は有難い
- ・仕事以外での繋がりもうれしい 等

■関係人口のコメント

- ・専門的な知識・スキルを活用して地域貢献出来ることが楽しい
- ・リアルで地域企業の社員等との交流や都市では得難い地域体験を通じて、家族を連れて三原市を訪れたいと思った 等

3.自立化・自走化の検討

項目	おてつたび	第2のふるさとづくり	副業・兼業人材
実施体制・取組概要	<ul style="list-style-type: none"> ・本事業と同様のメンバー ・今後は、広島大学（大学生）との連携強化を想定 	<ul style="list-style-type: none"> ・本事業と同様のメンバー ・今後は、滞在場所（おためし住宅等）の整備や関りの継続強化に向けた情報コンテンツの造成・発信を想定 	<ul style="list-style-type: none"> ・本事業と同様のメンバー ・今後は、モニターツアーの実施等により、オンライン関係人口から訪問型関係人口への発展や地域との関わりを強化
運営費用	<ul style="list-style-type: none"> ・シェアリング企業と連携 ・関係人口の交通費：受益者負担 ・関係人口の滞在費：受益者負担 ※交通費・滞在費の支援を検討 	<ul style="list-style-type: none"> ・シェアリング企業と連携 ・滞在場所の整備：国補助事業検討 ・関係人口の交通費：受益者負担 ・関係人口の滞在費：受益者負担 ※交通費・滞在費の支援を検討 	<ul style="list-style-type: none"> ・シェアリング企業と連携 ・関係人口の交通費：受益者負担 ・関係人口の滞在費：受益者負担 ※交通費・滞在費の支援を検討
課題と対策	<ul style="list-style-type: none"> ・無関心層の農家の掘り起こし →今回作成の動画等で合意形成支援 ・中間支援組織（代表農家等）の育成 等 	<ul style="list-style-type: none"> ・地域の経済活性化等が課題 →地域産品等の販路拡大を検討 ・関係人口の継続的な関わりしるが課題 →情報コンテンツの造成・発信等を検討 等 	<ul style="list-style-type: none"> ・無関心層の企業の掘り起こし →今回作成の動画等で合意形成支援 ・仕事以外での地域との関わりを創出 →モニターツアーの実施 等

4.他地域への横展開の可能性の検討

項目	検討内容
事業スキーム・プログラム	<ul style="list-style-type: none"> ・本事業（おてつたび、第2のふるさとづくり、JOINS）をベースに、関係人口の地域との関わり継続性・深化の手法を更に検討 →初来訪だけでなく、再来訪を促す仕組みやオンライン関係人口から訪問型関係人口へのステップアップ化 等 ・広域的な移動手段（鉄道）を基盤とした市町村間の広域連携の促進（滞在拠点・移動手段をセットにした支援等） 等
連携先・地域	<ul style="list-style-type: none"> ・同一市町村内の他地域への横展開、瀬戸内海の他市町村への横展開 ・企業間（おてつたび、第2のふるさとづくり、JOINS）の連携が不足しているため、その連携可能性も検討 →例えば、オンライン副業・兼業人材が家族で地域に訪れ、父親は地域企業と仕事をして、その間家族は第2のふるさとづくりに参加 等 →これにより、関係人口の地域への訪問頻度・滞在期間が延び、関係人口の地域との関わりを深化も検討
課題と対策	<ul style="list-style-type: none"> ・受入地域と関係人口づくりを進める際、受入地域が関係人口のイメージを掴めず合意形成に時間を要す →本事業で作成した動画（地元農家・企業等の受入地域側の身近な体験談や関係人口の人物像等を紹介）を有効活用 等 ・本事業の仕組みを横展開する場合、地域に中間支援組織が存在しないケースがあり得る →広域的な中間支援組織（JR西日本）が保有する連携企業やノウハウを活かして、伴走支援しながら地元中間支援組織を掘り起こし 等 ・中間支援組織（コーディネーター）の収益化が困難 →瀬戸内海連携により、関係人口の需要を掘り起こし、レベニューシェア等により成果報酬を得るビジネスモデルを展望 等